

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
 電話 098-930-2525(にこにこ)
 F A X 098-933-1324
 ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
 メール info@ryokujukai.or.jp



(写真:緑樹苑内撮影)



飛行日誌

最近、若い頃に腑に落ちなかったできごとが、今も心のどこかに燻っていて、何かの拍子に思い出しては「あれはなんだったのだから」と考えこんでしまう。

私が学生だった頃の話である。ある日の深夜、顔中青あざだらけにした友人が、突然私の部屋(かなり古びた借家だった)に現れた。むしゃくしゃしていたので飲んでの帰り、たむろしていたやーさんぽい連中と諍いになって、派手に殴られたと言う。私は彼の無茶ぶりに驚いたものの、むしゃくしゃの理由を聞いてほとほと呆れてしまった。付き合っている彼女がサークルのみんなと先輩の部屋で飲んで、そこで雑魚寝をして一夜を明かしたことにショックを受けたと言うのだ。取りあえず薬をつけて包帯をしてやったが、その馬鹿さ加減に腹が立ってきた。

卒業後はいつの間にか彼との音信も途絶えて、結局、どうして彼は雑魚寝ごときで、そこまで自分を追い込んだのか、聞けずじまいになってしまった。人にはいろいろな考え方があるとは思うけれど、四十年過ぎてもその疑問はまだ私の中で時空をさまざましている。

大学に入学したばかりのことだった。友人の部屋で友達が集まって飲み会をした。その部屋(長屋)は友人が大学を卒業した姉から引き継いだようで、隣もその隣の女の人だと言う。私たちはなんとなく緊張していて、友人のギターもいつもよりノリが悪かった。楽譜がないので、という友人の言い訳に、すかさず隣の壁(板戸)の隙間から楽譜が届いた。そのタイミングの良さといい、気の利いた茶目っ気のある心遣いに、私たちは素敵な隣人を想像した。どんな人か友人に訊いても、引越したばかりなので分からないと言う。

翌朝、酔いっふれてまだ寝ている私たちの頭上に、隣の部屋から『東京のバスガール』を楽しげに口ずさむ女の人の声が聞こえてきた。私と友人は顔を見合わせた。言葉にはしなかったけれど、二人とも彼女の歳を想像したのだ。どう考えても三、四歳上のお姉さんだと思っていたのが揺らいだ瞬間だった。

不思議なことに、その後の真相が私の記憶にはない。ただ、『東京のバスガール』の爽やかな歌声は、青春の日の端っこに今もぶら下がっている。(富永健)

令和元年 緑樹会創立40周年記念事業 第34回 地域交流グラウンドゴルフ大会



期日: 令和元年6月21日(金)
会場: 沖縄県総合運動公園レクドーム



▲開会式の来賓あいさつでは、與那嶺克枝沖縄市副市長が選手を激励。



▲始球式には、右から與那嶺克枝沖縄市副市長、小浜守勝沖縄市議会議長、積静江沖縄市社会福祉協議会会長、新屋孝一かりゆしシニアクラブ会長、山城哲也緑樹会後援会会長、浜川通緑樹会理事長が参加。

創立40周年記念事業として開催

地域住民の健康増進と交流を図ることを目的に、『第34回緑樹会地域交流グラウンドゴルフ大会』(主催: 緑樹会、協賛: 後援: 沖縄市、沖縄市議会、沖縄市社会福祉協議会、協力: かりゆしシニアクラブ)が、6月21日(金)、沖縄県総合運動公園レクドームを会場に開催された。

今回は、緑樹会創立40周年記念事業の一環として開催され、沖縄市内の各老人クラブや企業など20団体228名が参加した。

開会式では與那嶺克枝沖縄市副市長があいさつし選手を激励した。



競技は2ゲームの合計打数で競われ、参加者の皆さんは、日頃の練習の成果を大いに発揮。各ホールでは、選手の皆さんの狙いすました渾身の一打に一喜一憂した。また、ホールインワンが出るたびに大きな歓声があがった。

今回は輪投げコーナーも設置され、ゲームの合間の待ち時間を利用して多くの方が参加。順番待ちとなるほど人気で、用意された参加賞の景品300個はあっという間になくなった。

ゲーム終了後に集計作業が行われ、いよいよ結果発表。表彰式では、男女各上位3名が表彰され、沖縄市長杯、沖縄市議会議長



▲ゲームの合間に輪投げコーナーに参加。意外な難しさに、大いに盛り上がった。



▲緑樹会からもていんさぐぬ花チームが参加。交流を深め、ゲームを楽しんだ。

(小渡修)

杯、沖縄市社会福祉協議会会長杯、緑樹会後援会会長杯、緑樹会理事長杯がそれぞれ授与された。また、参加者最高齢者賞(95歳2名)が表彰された。最高齢者賞の二人はなんと3年連続の受賞。そのほか、ホールインワン賞が89個、ブービー賞なども表彰され、景品が贈られた。



▲地域交流を目的とする本大会に、今年もユザ信用金庫の皆さんが参加。老人クラブの皆さんとの交流を深めた。



大会結果 表彰受賞者

男性の部	女性の部
優勝(沖縄市長杯) 知念正博さん(古謝老人クラブ)	優勝(沖縄市議会議長杯) 国吉フミ子さん(松本老人クラブ)
2位(沖縄市社会福祉協議会会長杯) 宮平正光さん(泡瀬老人クラブびじゅる会)	2位(緑樹会後援会会長杯) 島袋シズ子さん(古謝老人クラブ)
3位(緑樹会理事長杯) 金城 繁さん(古謝老人クラブ)	3位(緑樹会理事長杯) 西銘節子さん(古謝老人クラブ)



最高齢者賞 島袋朝勇さん 95歳 (諸見里老人クラブ)
松本貞子さん 95歳 (諸見里老人クラブ)

“福祉のお仕事” 入門教室を開催(コザ中学校)



沖縄県社会福祉協議会事業の一つ「福祉のお仕事入門教室」が7月12日(金)、コザ中学校(島村一司校長)の3年生を対象に開かれた。

県社協から講師依頼を受けた緑樹会から、祝嶺賢宅介護支援専門員(沖縄市地域包括支援センター西部北)と森山亜紀介護福祉士(緑樹苑デイサービスセンター)の二名が講師として派遣された。

森山介護福祉士が担当したのは、介護技術。利用者がベッドに横になっていての状態から起き上がってもらう動作の介助と、ベッドから椅子への移乗介助を、ボディメカニクス



を応用した介護技術で実演した。少しの力で利用者に負担がかからないように介護する技術に生徒たちは感心している様子だった。

起き上がりや移乗の介助を体験した生徒の諸見里琉真さんは「力任せでは難しかった。少しの力で起き上がる技術がすごいです。仕事は毎日大変そう」と感想を語った。



- ボディメカニクスを応用した介護技術の基本原則**
1. 支持基底を広く、重心を低くする。
 2. 重心を近づける。
 3. 大きな筋群を使う。
 4. 利用者の身体を小さくまとめる。
 5. 「押す」よりも「引く」。
 6. 動かす方向に足先や身体を向ける。
 7. 重心移動で動かす。
 8. てこの原理を応用する。

祝嶺賢宅介護支援専門員は、福祉の現場における魅力の一つとして、スキルアップ(資質の向上)とキャリアアップ(昇進)についての講話を行った。「しっかりと目標を持って仕事に臨めば資格取得によるスキルアップができ、キャリアアップに繋がる。成長に伴って給料も上がり、やりたい仕事の幅もどんどん広がってくる。」と、自身の体験も交えて話をした。

講話終了後は、生徒を代表して、生徒の仲地紅さんから「介護の仕事は、『3K』の大変な仕事から、やりがいのある仕事へとイメージが変わりました。ありがとうございます」と感謝の言葉が贈られた。

(與座嘉一郎)



「夏」到来。梅雨明け告げる「地バーリー」を開催



沖縄の伝統行事「ハーリー競漕」。毎年恒例となった地バーリーが6月15日(土)、緑樹苑で開催された。

各施設の利用者が一堂に会したこの日は天候に恵まれ、梅雨時期にもかかわらず青空が広がり、ハーリー日和となった。

はじめに、利用者の健康と長寿を祈願する「御願ハーリー」が行われ、各事業所手作りの個性的なハーリー舟が入場すると、利用者の皆さんから太鼓の音とともに大きな声援があがった。



浜川通理事長による合図の鉦が打ち鳴らされ、各チームが一斉にスタートした。追い抜き追い越されつつ激しい競漕に、利用者の皆さんは太鼓を打ち鳴らしながら熱い声援を送った。利用者の皆さんの前に来ると舟が転覆するなどハプニングも有り笑い声が絶えなかった。

結果は、みどり学童クラブの男子チームと女子チームがそれぞれ優勝した。

地バーリーを楽しんだ後は、カキ氷で涼をとりながらみどり学童クラブによるダンスが披露されたほか、職員による唄三線で利用者の皆さんも一緒に民踊りを踊った。最後に、カチャーシーを踊り、夏の到来を感じさせる行事を楽しんだ。(照屋寛伸)



▲給食センター所属。沖縄エビフライ級チャンピオン。「緑樹苑のハゲワシ」の異名を持つ、ちよっちゃん一山選手も登場。

みどい学童クラブ交流会 (緑樹苑デイサービスセンター)



5月18日(土)に、デイサービスの利用者ともどり学童クラブの子ども達との交流会が行われた。利用者と一緒に干支のパズルをしたり、子ども達がピン立てしているのを笑顔で見守ったり、また、女の子達は、学校で流行っている『パプリカ』を踊ったり、『TWICE』の歌を歌いながらのダンスを披露した。

利用者の皆さんは「元気だね。何年生かね?」と子ども達とおしゃべりしながら、終始笑顔で「可愛いさ」と顔をほころばせ、交流を楽しんでいた。(津嘉山聖羅)



紙オムツ・パッドの勉強会を開催 (特別養護老人ホーム緑樹苑)



5月21日(火)、特別養護老人ホーム緑樹苑では、有限会社シルバール館の協力のもと、(株)リブドゥコーポレーション 排泄ケアサポーターの湖城孝江さんを講師に迎え、オムツやパッドについての勉強会を行った。

勉強会では、排泄のメカニズムやオムツ内のスキンケア対策などのほか、実際に職員がオムツを着用してサイズなどの確認をし、身体に合わないオムツを使用すると利用者にとってはお肌トラブルの元となることなどを学んだ。

職員からは「知らなかった事も多く、勉強になった。今後のケアに活かしていきたい」との声も上がった。

(渡久地二)



父の日祝い会を開催 (緑樹苑デイサービスセンター)



6月16日の父の日を前に、デイサービスでは13日(木)に父の日祝い会を開催した。乾杯の挨拶で幕開けし、職員による余興では、手押し相撲が行われた。利用者の皆さんは、押したり引いたり必死の形相を見せる職員の様子に大笑い。

利用者によるカラオケも盛り上がり、民踊りでは清水介護員が『笑い福い』を歌いながら、他の職員が踊った。カチャシーシーでは、皆さんも一緒に踊って楽しんだ。最後に、男性利用者一人一人にプレゼントが贈呈され、満面の笑顔を見せていた。

(津嘉山聖羅)



家族と一緒に「父の日交流会」(ていんさぐぬ花)



6月14日(金)、ケアハウスていんさぐぬ花では『父の日交流会』を行った。小渡課長の挨拶で始まり、余興は職員の仲松介護員と真境名本流真境名英美の会の皆さんによる琉球舞踊『かぎやで風』『四ツ竹』『鳩間節』が披露された。利用者やご家族は「きれいだね、上手だね」と感激した様子で観賞していた。職員も、『ていんさぐぬ花』を披露した。

男性利用者の皆さんにプレゼントが贈られ、笑顔で記念写真を撮られた。最後に全員でカチャシーシーを踊り楽しいお祝いのひと時を過ごした。(知念民枝)



8月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかず	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(木)		カラオケクラブ	スカッシュボール	ハンドマッサージ	
2(金)			手工芸	手芸クラブ	
3(土)			ボウリング		園外活動
4(日)			カラオケ		
5(月)		民舞クラブ	輪投げ		
6(火)			三板クラブ		
7(水)		ミニシアター	映写会		
8(木)		手作りおやつ会	防災訓練	防災訓練	遠足(県総プール)
9(金)			手工芸・塗り絵クラブ	手芸クラブ	
10(土)	夏まつり		ボウリング	手作りおやつ会	
11(日)			カラオケ		
12(月)		書道クラブ			学童休園日
13(火)		三板クラブ			
14(水)	旧盆エイサー	旧盆エイサー	旧盆エイサー	旧盆エイサー	
15(木)		民舞クラブ	スカッシュボール	カフェタイム	
16(金)		手芸クラブ	手工芸	手芸クラブ	
17(土)			ボウリング		
18(日)			カラオケ		
19(月)		お茶会	輪投げ	夏まつり	
20(火)		ミニドライブ	ミニドライブ・三板クラブ		火力発電所見学
21(水)		ミニシアター	散髪		
22(木)	避難訓練	カラオケクラブ・美化活動	誕生会		
23(金)		誕生会	手工芸・塗り絵クラブ	手芸クラブ	
24(土)			全島エイサー		園外活動・読み聞かせ
25(日)			カラオケ		
26(月)		書道クラブ	輪投げ		流しソーメン
27(火)		三板クラブ	脳トレ		
28(水)		防災訓練	映写会	防災訓練	
29(木)			スカッシュボール		
30(金)	誕生会		手工芸	手芸クラブ	
31(土)			ボウリング		園外活動

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

(令和元年六月一日〜六月三十日)
(金員の部)

仲宗根 英子 様

上原 信彦 様

太田 範雄 様

與儀 清春 様

(物品の部)

ていんさぐぬ花
家族会 様

編集後記

厚生労働省が発表した資料で高齢者世帯数が1406万世帯となり過去最高を更新との記事がありました。高齢者人口に関して過去最高を更新するというニュースに段々と驚かなくなりましたが、それとは別の新聞記事で、福祉・介護事業者の倒産件数が過去最多との報道もありました。主な理由として、資金難のほかに、人員が確保できないことによる経営難が挙げられています。このニュースもまた去年に「過去最多を更新」と報道されています。

「高齢者」や「介護」に関して、過去に例のない社会構造となっており、あらゆる面で過去最多・最大・最高・最低などと謳われます。

今後もしばらくは、「過去最〇」を耳にしようです。(砂川智規)

緑樹会のホームページから竹とんぼをご覧いただけます。



またはインターネット検索で
緑樹会 竹とんぼ